

TOPICS ~in 海外~

発信日付 2019年11月26日

発信名 国際部

内容
照会先 TEL : 011-233-1198

ユジノサハリンスク駐在員事務所

ユジノサハリンスク道北物産展 2019 開催

10月25日(金)から10月27日(日)の3日間、ユジノサハリンスク市内の大型商業施設「シティ・モール」にて今年で7回目となる『ユジノサハリンスク道北物産展 2019』が開催されました。

この「道北物産展」は、道北地域とサハリンとの人・物の交流拡大と地域間交流の推進、道北地域の産物の海外への販路拡大等を目的に、2013(平成25)年から開始された道北9市(旭川市、留萌市、紋別市、士別市、名寄市、富良野市、深川市、芦別市、稚内市)で構成する「サハリン経済交流促進協議会」による取り組みです。

今回は6市から23品目が出展され、これらの商品は、「稚内・コルサコフ定期航路利用促進協議会」による貨物船チャーター事業で運航された貨物船を利用して輸出されました。サハリンに物を運ぶ最短ルートです。

定番のポテトチップスやたれ類などが並び、旭川産リンゴは1個およそ200ルーブル(約350円)と日本の倍以上の価格ですが、初日分のおよそ200個が早い時間に売り切れたとのこと。サハリンでもリンゴや玉ねぎは売られています。日本製となると安心・安全という絶対的な信頼がロシアの人々に根付いており、さらに「おいしい」まで定着しています。しかし、検疫や関税など手続きが煩雑で、簡単にはすぐに取り寄せられないのが現状です。隣国にもかかわらずもどかしさを感じます。



館山 浩

北海道 ASEAN 事務所 (シンガポール)

北海道で開催されるマラソン大会に熱視線

来年に開催を控えた東京オリンピックのうち、マラソンと競歩の開催地が札幌に変更になったニュースが話題になりましたが、道内で開催されるマラソン大会にシンガポール人が多く出走していることをご存知でしょうか。

シンガポール政府が5年毎に統計をとる国民の運動に関する統計(13歳以上を対象、直近の統計は2015年実施)では、ランニング、ジョギング、ウォーキングがトップ3を独占するなど、マラソンへの関心は非常に高い国であり、ほぼ毎週末、大小様々なマラソン大会が各地で開催されています。

北海道 ASEAN 事務所では、上記のようなシンガポールにおけるマラソン熱を道内インバウンドに繋げるべく、日系大手旅行代理店、札幌マラソン事務局と連携し、今年度開催された札幌マラソンに40名の海外ランナー枠を設けPRしたところ、シンガポール内外から多くの申込みをいただいた他、マラソン出走の前後、数日間は道内観光を楽しんでいただきました。

また、シンガポール最大級のマラソン大会を運営する事務局との意見交換では、ホテル建設が進むニセコにおいて、マラソンやトライアスロン大会の新設に関心がある模様です。

東京オリンピックにおけるマラソン競技の開催地が変更になったことを受け、スポーツツーリズムを通じた夏の道内インバウンド拡大にも注目が集まりそうです。



札幌マラソン PR チラシから抜粋

杉山 和正